

知っていますか？！

南アルプスの ニホンジカ



山梨県森林総合研究所

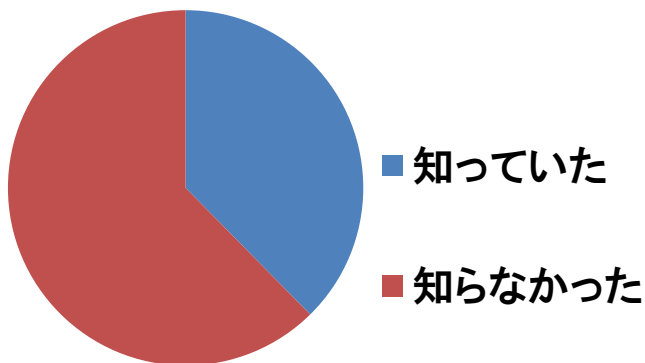
はじめに

登山を楽しむ方たちが、南アルプスの美しい高山植物や森林をこれからも楽しむために、知ってほしいことがあります。

今、南アルプスの自然がニホンジカに蝕まれています。少し目をこらすと、ニホンジカの影響がそこかしこに見られています。

ニホンジカによる影響の実態を知って頂き、一緒に考えていただければ幸いです。

シカの影響があることを



- 2013年、広河原において、登山を終えて帰路のバスを待っている登山者を対象にしたアンケート調査
(299件 の回答)






目 次

1. ニホンジカの基礎知識	• • • • •	4
2. 南アルプスのニホンジカ	• • • • •	6
3. ニホンジカへの対策	• • • • •	10
4. これから必要なこと	• • • • •	13
5. アルバム	• • • • •	14




1. ニホンジカの基礎知識


ニホンジカ分布域（メッシュ数） 自然環境保全基礎調査

-  1978年のみ確認（70）
-  1978年と2003年の両方で確認（3926）
-  2003年に新たに確認（3407）
-  2011年に新たに確認（1410）
-  2014年に新たに確認（1650）

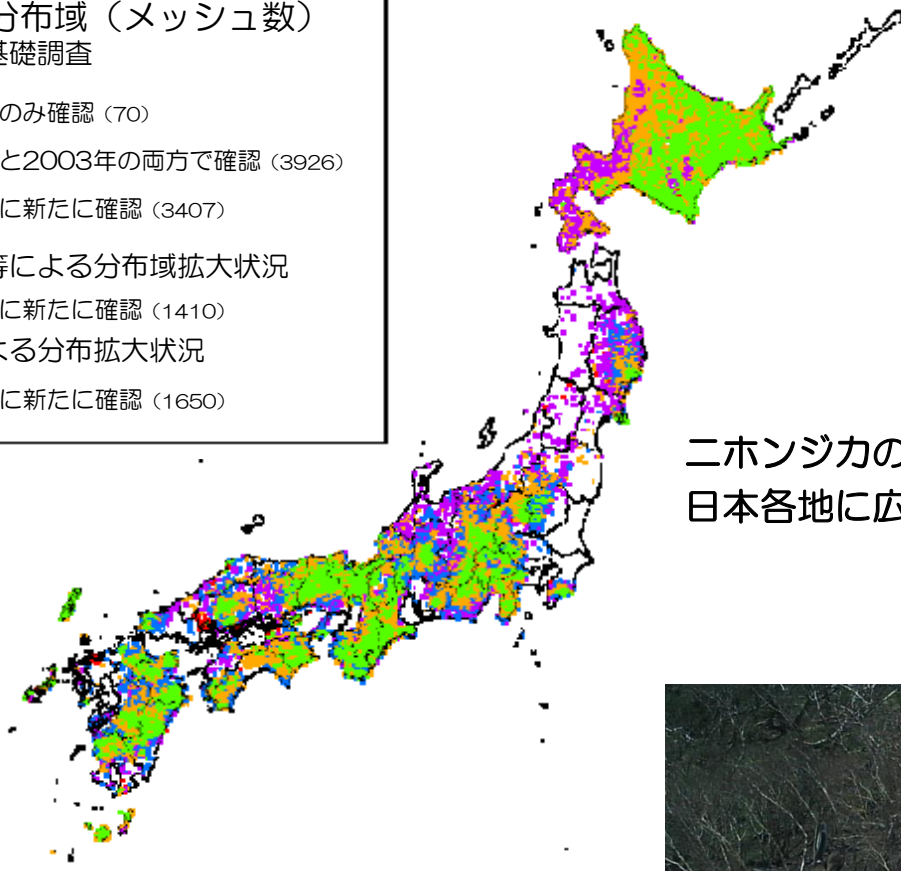
捕獲位置情報等による分布域拡大状況

 2011年に新たに確認（1410）

目撃情報等による分布域拡大状況

 2014年に新たに確認（1650）

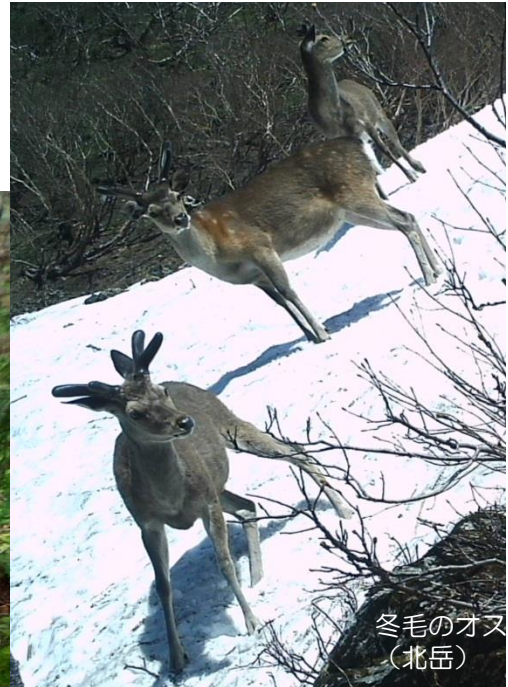
環境省 2015



ニホンジカの分布域が
日本各地に広がっています。



夏毛のメス（北岳）



冬毛のオス
（北岳）

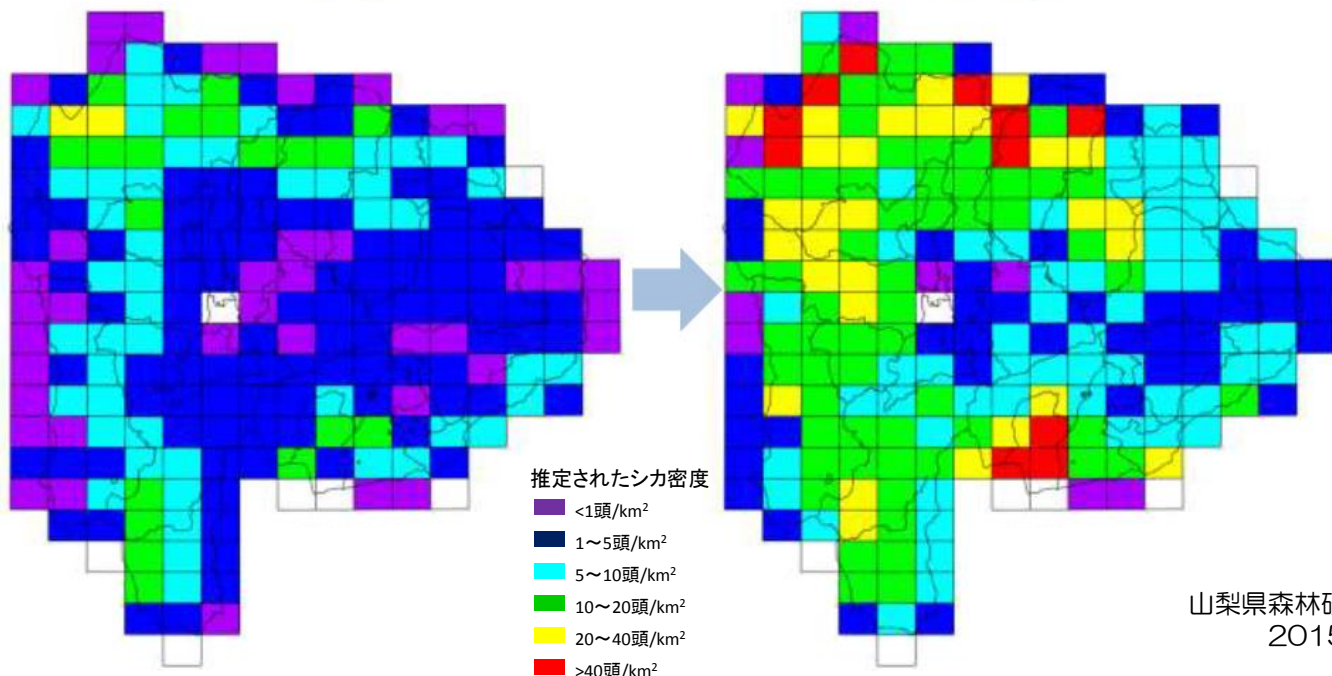
【ニホンジカとは？】

偶蹄目シカ科、植物食。体長は100～170cm、体重は40～100kg程度。
春から夏にかけての体毛色は赤茶色に鹿の子模様と呼ばれる白の斑点が入る。
秋になるとこげ茶色に生え変わる。尻にはまとまった白い毛がある。
角はオスにしかなく1年に1度、春に落ちて生え変わる。
交尾期は秋で、約7カ月の妊娠期間を経て1頭を出産する。

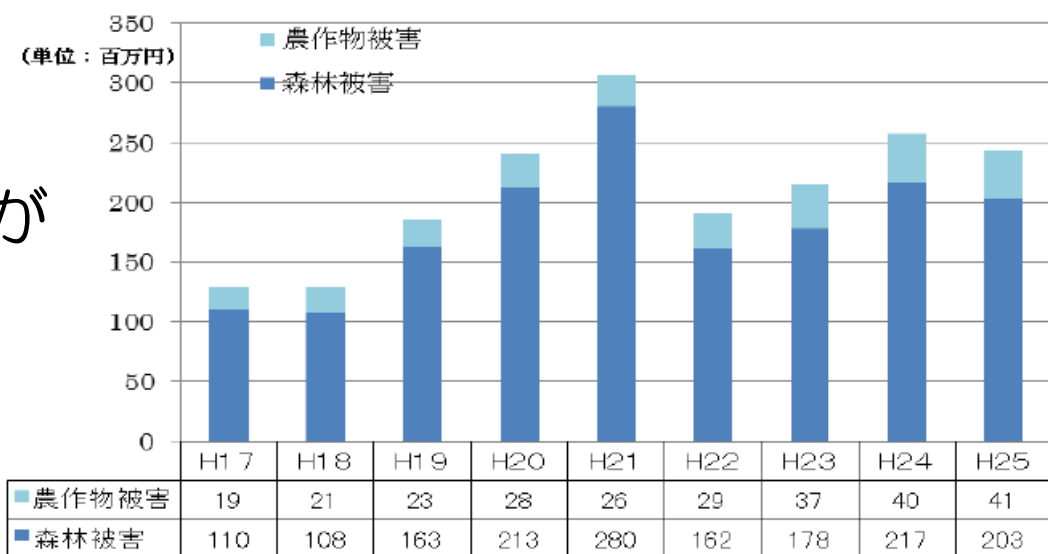
山梨県でもニホンジカが増えています

2005年

2013年



深刻な
農林業被害が
起きている



山梨県 2015

なぜニホンジカは増えている？

- 冬が厳しくなくなった
(初夏に生まれた子供は冬を越せば母親に)
 - 狩猟者が減少した
 - 天敵がいなくなった
- 気候温暖化
高齢化・生活変化
オオカミの絶滅

2. 南アルプスのニホンジカ

これまでいなかった高山にまで登っています



高山植物を
食べ、踏み付けています



シナノキンバイ



北岳山荘下



植生がなくなり、
土壌浸食が起きています



農鳥小屋水場

「前は、この谷は全部緑色だった」
(北岳山荘 猪俣氏)

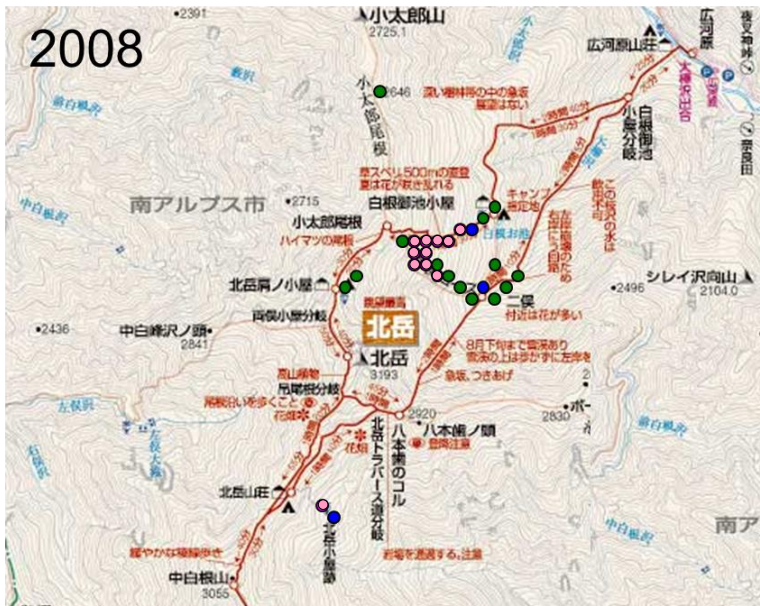


北岳山荘下

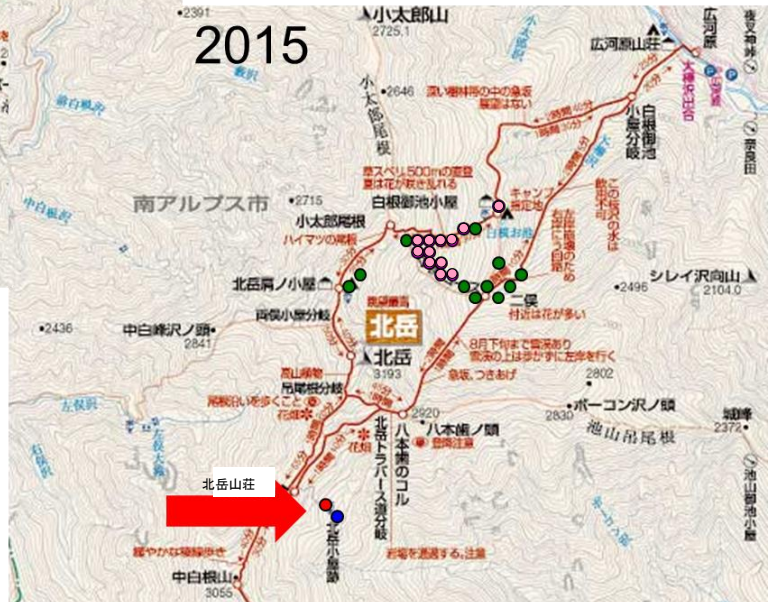
植生への摂食がひどくなっています

被害の有無	ランク	区分の考え方	補記
シカの植生への被害がある	A ●	シカの食害・踏み跡が植生に甚大な被害を与えている	群落の消失が危惧
	B ●	大きな被害は及んでいないが、食害等の被害がある	容易に生息痕跡が見られる
	C ●	食害等が認められるが、影響は心配ない程度	生息痕跡はある
シカの植生への被害がない	D ●	被害がない。あってもほとんど気にならない	シカの形跡がない、または少しある

(中部森林管理局,2007を改変)



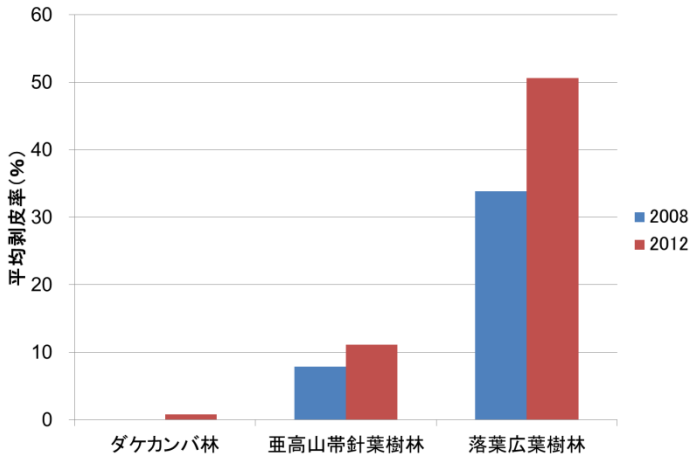
2008年にはなかったランクA（激害）が、2015年には北岳山荘下に出現（前ページ参照）



- ランクA: ● 激
 - ランクB: ●
 - ランクC: ●
 - ランクD: ● 無
- ↑ ↓

樹木への剥皮もひどくなっています

・北岳 草すべり～大門沢



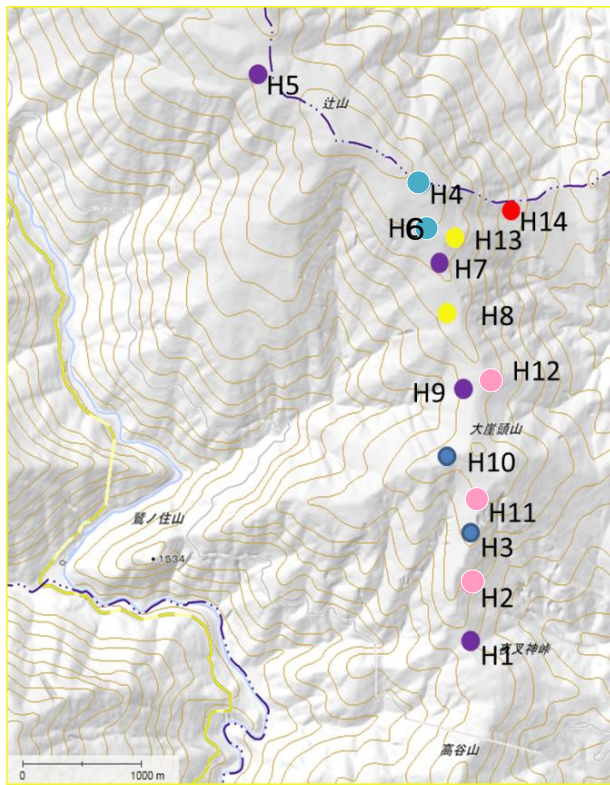
長池ほか 2014 山梨県森林研研報



2008年から2012年に剥皮された樹木は増えた

・鳳凰三山

2013-2014

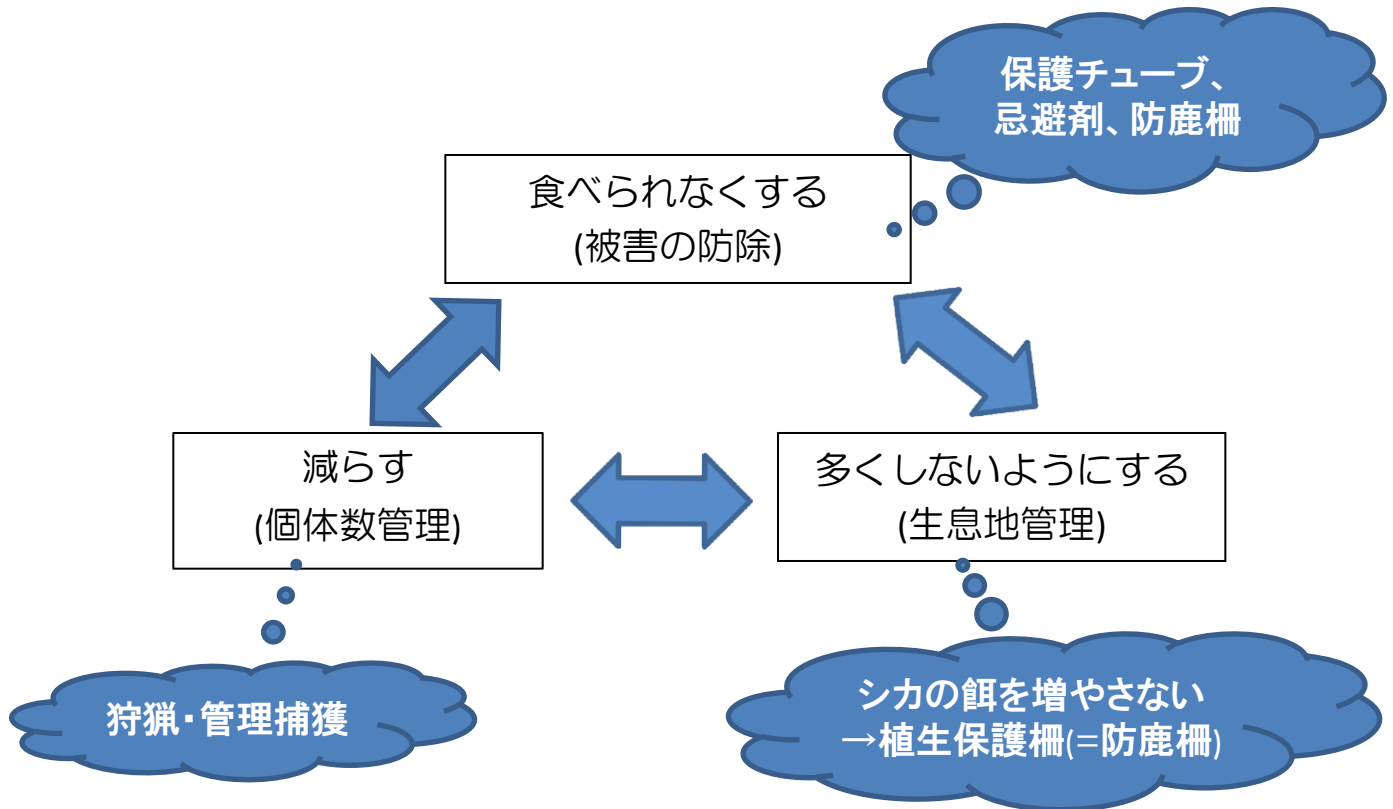


樹木の剥皮率(%)



3. ニホンジカへの対策

ニホンジカによる影響をどのように減らすか？



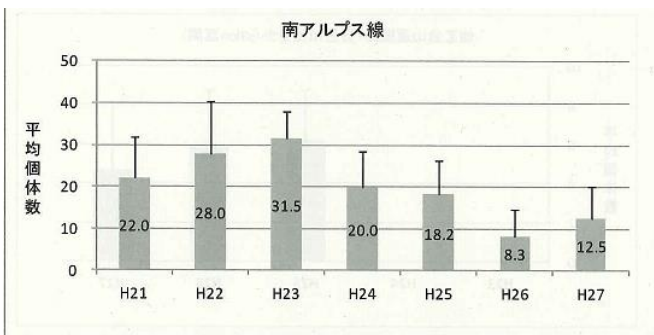
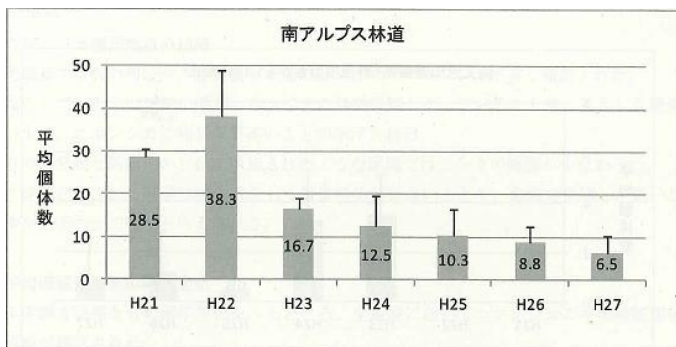
南アルプスでの取り組み

冬期の捕獲
高山帯での捕獲試行
植生保護柵の設置
モニタリング

等

- 南アルプスユネスコエコパークの管理運営組織である「南アルプス自然環境保全活用連携協議会ニホンジカ対策ワーキンググループ」で南アルプスのニホンジカ対策に取り組んでいる。
- 山梨県では、「山梨県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画」において、平成24年度末時点で推定された69,917頭を、平成35年までに半減させることを目標として対策している。

* 冬期に低標高で捕獲しています（環境省・山梨県）



環境省関東地方環境事務所 2016

- 冬期に、県営林道南アルプス線、県道南アルプス公園線沿いで、銃による捕獲を行っています。
- その結果、ニホンジカの日撃個体数は減少しています。



*植生保護柵が設置されています (環境省)



食べられなければ花は咲く。
しかし、
柵の外は摂食され続ける・・・



北岳 草すべりの植生保護柵



キタダケソウ防鹿柵
(キタダケソウはまだ食べられていないが予防的に設置している)

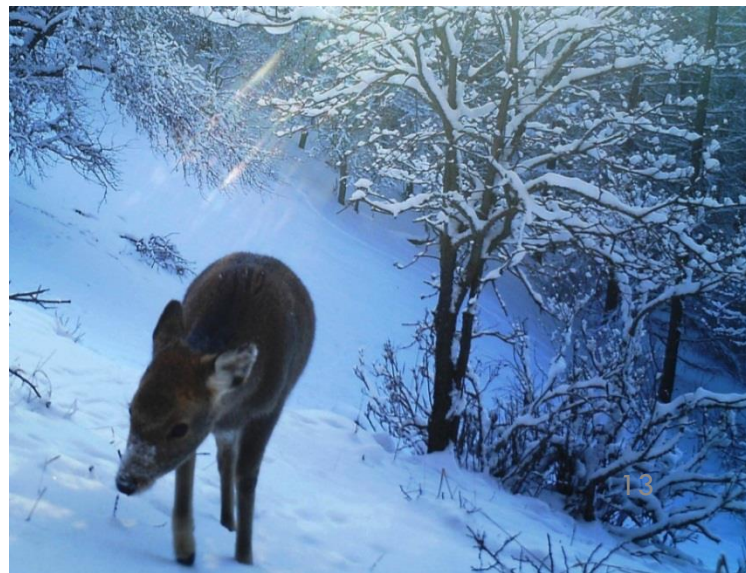
4. これから必要なこと

豊かな高山植物と森林に覆われた素晴らしい南アルプス。登山者にこれからも楽しんでもらうためには、ニホンジカに対する対策は不可欠です。

ニホンジカによる影響を減らすために、効果的・効率的な対策を進める必要があります。

応援して下さい。

友達に伝える、活動に参加するなど、登山を楽しむ方だからこそ出来ることがあります。



5. アルバム

北岳・鳳凰三山の センサーカメラに映った動物たち



ツキノワグマ(北岳)



ニホンジカ(北岳)



ホンドテン(北岳)



ホンドテン(鳳凰三山)



ニホンカモシカ(北岳)



ノウサギ(北岳)



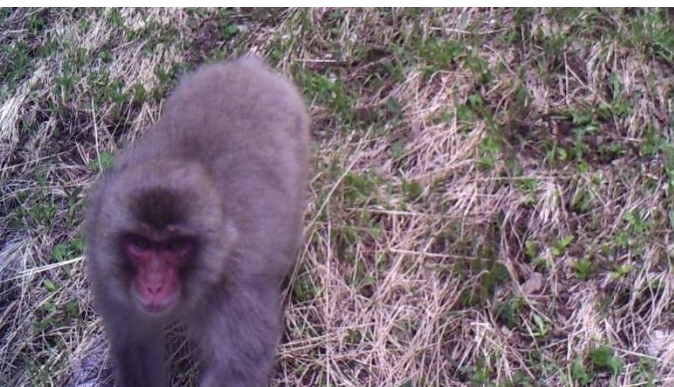
ノウサギ(鳳凰三山)



ムササビ(北岳)



ニホンリス(鳳凰三山)



ニホンザル(北岳)



ホンドギツネ(北岳)

2017年7月作成

山梨県森林総合研究所

南巨摩郡富士川町最勝寺2290-1

Tel: 0556-22-8001

E-mail: shinsouken@pref.yamanashi.lg.jp.

担当 長池卓男・荒川史子

この資料は、山梨県総合理工学研究機構研究課題「南アルプスにおけるニホンジカによる高山植物への影響と保護対策および個体数管理に関する研究(H23-25)」、三井物産環境基金研究助成「『高山に登るニホンジカ』にどのように対処するか(H25-27)」、日本学術振興会科学研究費補助金「気候変動下での樹木分布移動に及ぼす人工林とニホンジカの影響の解明(H28-31)」による結果の一部です。